

第3回協議会が開催されました

2月20日（火）午後6時より、第3回河内中学校魅力ある学校づくり地域協議会が本校会議室で行われました。「うつのみや学校マネジメントシステム全体アンケート」の結果や河中だより（学校だより）等をご覧いただき、学校の様子をご理解いただきました。また、全体アンケートの気になった項目につきまして、委員の皆様から貴重なご意見やご提案をいただきました。その内容をもとに、『河内中学校学校評価書』を作成しますのでご覧いただければ幸いです。3月中旬に学校ホームページへ掲載します。



ご意見・ご提案より（紙面の都合で一部の掲載となります）

- ・小学校では情報処理能力が伸びてきている。中学校でもタブレットを積極的に活用していて良かった。
- ・「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」「教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。」「学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」の生徒、教職員の肯定的回答の割合が高く安心した。
- ・「勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」の教職員の肯定的回答率が、昨年度より29ポイントも上がって、すばらしい。
- ・全体的に生徒の評価が高い。⇒「宇都宮のよさを知っている。」などの生徒の評価が高くなっている。
- ・能登半島地震では近所同士で助け合って命が救われている。互いに支え合う教育をしてほしい。
⇒ ボランティアへの参加や道徳を通して、今後も共助の精神を育んでいきたい。
- ▲「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。」の生徒、教職員の肯定的回答は生徒が95.5%、教職員が96.9%と高いが、保護者は71.3%と低い。様々な方法を使って、学校の取組を保護者に伝えるようにしてはどうか。また、いじめについては、保護者はとても心配し関心を寄せていると思う。母親の意向を聞く機会を作してほしい。
- ▲「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」の教職員の肯定的が昨年度より約9ポイント下がったのはなぜか。
⇒ 昇降口が滑りやすいことについては、人工芝を敷くことで対応した。今後も安全に配慮した環境づくりに取り組みたい。

▲は改善点

今年度初めて行われた「地域未来塾」は、宇都宮市教育委員会生涯学習課の協力を得て、のべ34人の生徒が参加しました。生徒は、学習への意欲が高まるとともに、充実した時間を過ごすことができました。今後も利用したいとの声が多数寄せられました。来年度も、7～12月の毎月1回の計6回、休日の10:00～12:00に、学習支援ボランティアをお呼びして、地域未来塾を開く予定です。

協議会の活動（学校環境整備活動）



3月上旬に、地域学校協働活動推進員の洪井様、松本様と、地域の方々が、卒業式のために、フラワーロードの整備を行っていただきます。今後は、生徒会環境委員が卒業式や入学式に向けて、花の水やりや、プランターの設置を進めていきます。

※写真は一昨年度のものです

今年1年間、ありがとうございました。来年度もご支援、ご協力をお願いいたします。